

長浜市区、杉本県議の再選を 県議選、5議席以上で県民要求実現へ



米原市民報

日本共産党米原市会議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党湖北地区議員団
事務局藤田正雄 Tel.55-1128

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

3月29日告示、4月7日投票で戦われる県議選について、日本共産党の基本的な考え方を掲載します。米原市区は候補者は立てませんが、長浜市区での杉本県議の再選、彦根犬上郡区での勝利と県下5議席以上の実現を目指します。

大きく変わった県議会

空白から3議席実現

前回選挙で県議会空白を克服し3議席を獲得した日本共産党県議団は、最初の県議会（2015年6月議会）一般質問で、中学校卒業までの医療費の無料化を知事に迫りました。知事は今後の検討の素材にしたい」と答弁し、2016年度から所得制限と一部負担を撤廃させました。こども医療費助成の拡充を主張しているのは日本共産党だけです。県立高校のエアコン設置では、他府県に比べて遅れている実態を暴露した結果、普通教室への設置が順次始まり、今年の猛暑を受けて他党派もこの問題を取りあげ、当初計画より前倒しで、早期に実現することになりました。

自民党県議団が「安保法の早期成立を求める意見書」を県議会に提出しようとした時、日本共産党県議団はただちに広範な県民に知らせ、県民の抗議の声を県議会に集中し、提出を断念させました。最近でも、来年度からこうしたもつで地方政治における政党状況はどうなっているのでしょうか。国政課題については、国政野党のみなさんと、地方議員の段階でも、全国各地でさまざまな共同の広がりがある

基本は自公対共産党

自治体レベルでも共闘を

生まれているところは重要です。同時に政治においては、部道府県、政令市、県庁所在地をはじめ地方自治体の大多数で、依然としてわが党をのぞく「オール与党」政治が継続しているというのが実態であります。最近でも、来年度からの行革方針（行政経営方針案）を明らかにさせ、いち早く県民に知らせたのも日本共産党県議団でした。県政と県議会で起こることをチェックし、県民に知らせるかけがえのない役割を發揮しています。

2024年の滋賀国体をめぐっては、国体関係費が500億円超にのぼることを県民に知らせ、「身の丈に合った国体で、暮らし・福祉優先の県政に」と県民と力を合わせて運動してきました。

5議席以上に躍進すれば、交渉会派になり県民の願いを実現する大きな力を發揮することができそうです。また5つの常任委員会すべてに委員を送ることができ、すべての議案をしっかり審議でき、チェック機能も高まります。紹介議員となった申請がどの委員会に付託されても、申請者の願いを代弁し、採択を迫ることが出来ます。

そうしたもつで、統一地方選挙では、「自民・公明対日本共産党」を対決構図の基本にすえ、日本共産党地方議員（団）の政策・実績・役割を押し出すことを、政治論戦の基調にして大いにたたかいます。

全国で2770人のわが党議員団は、住民の利益を守る立場から行政をチェックするとともに、住民要求を議会にとどけ、子どもの医療費無料化の拡大、学校給食の無料化、国保料の抑制など、政治を動かす成果を住民運動との共同でかちとっています。前回の統一地方選挙で、すべての都道府県議会空白を克服したことは、災害救援への対応、住民要求実現、議会の民主的運営などの点で、様変わりした状況をつくっています。

そうしたわが党議員団の宝の値打ちを大いに押し出し、激戦を勝ち抜こうではありませんか。なお、国政における共闘が発展するもつで、自治体レベルでもまだ部分的ですが野党共闘につながるさまざまな動きが起こっています。それぞれの自治体のあり方を「住民が主人公」の方向に転換させる政策的一致が得られた場合には、共闘の実現にむけて積極的に対応するようにします。



杉本県議

雑感 24日に投票された「沖縄県辺野古埋め立ての賛否を問う県民投票」は、投票率が52・48%、埋め立て「反対」が43万票（71・7%）、「賛成」が11万票、「どちらでもない」が5万票という結果になりました。沖縄県民の幾度にもわたるこれ以上の米軍基地はいやだとする審判に政府はどう答えるのか。安倍首相は真摯に答えてほしいものです。今辺野古の埋め立て地にはマヨネーズ状の地層があり、埋め立てそのものが困難との見方があります。辺野古の完成まで、危険な普天間基地は返還しないとのこと。銃剣とブルドーザーで奪った普天間基地の即時返還は当然です。ふり返って、市長公約の「米原市住民投票条例」はどうなつた。